

しきなん

心を一つにした

☆☆☆音楽集会

六月十八日(金)に行われた本校伝統の音楽集会是大きな成果を上げ、平日にもかかわらず駆けつけていただいた多くの保護者・地域の皆様とともにすばらしい感動を分かち合うことができました。誠にありがとうございます。お寄せいただいたメッセージは

感慨無量で涙が出た「パワーをもらった」子どもたちの一生懸命さが伝わってきた」感動で鳥肌が立った」来てよかった」

ぜいたくな時間だった」など、児童の発表を絶賛する声の連続。中には、子どもの様子に成長の跡を確信する声が多くありました。考えてみると、この音楽集会是子どもにとって大きな成長への挑戦の場であることを感じます。また、本校の児童が素直な感覚と明るさを身につけているのは、こういった文化的な活動が大きな要因になっているのではないかと思います。

敷島南小学校

新しい教育課程の実施に伴い、各学級では行事や会議の精選や見直しが行われて

ています。南小の子どもは幸せ。子どもたちがうらやましい」等の声にふれ



ると、今後への希望が湧き、さらに、よりよい音楽集会上に向けていく準備をしていかなければと思えます。一年生児童のあるおばあさんの吹奏楽の演奏をバックに全校児童の合唱、すべて見事でした。その中の一員に孫が存在する現実には涙が溢れました。日頃の練習の成果の賜と思えます。音楽を通して全校児童が一体となっていて、この一体感を秋季大運動会等の学校行事や、日常の活動に生かしていきたいと思えます。さて、今回のメッセージの中には、課題として共に考えていきたいことが指摘されていました。放送機器や、児童がコメン

トする際の声の小さな点。放送機器は修復について迅速に対応します。児童の声については、本校の大きな課題である自己表現力の弱さであり、今後、教職員の研究会で検討していきます。そして、保護者の皆様から、児童の発表中の参観者の声や気がなつたという意見がいくつもありました。今後はぜひ、ご理解とご協力をいただき、児童の発表がより良い条件で行われますようお願いいたします。

自分の言葉で語るコミュニケーション能力を！

身延線の電車に乗った時、車内で多くの高校生が黙って携帯でメールをしている場に遭遇し、時代の流れを痛感しました。自販機でジュースを買っても、しやべるのは自販機の方。このようにコミュニケーションしなくてもいい世の中で子どもたちは生きています。知人の家では、今日、学校どうだった。へっぴり：「楽しかったの？」おっ：「こんなやりとりの毎日であることも聞きました。一方、社会が求めている資質・能力は前述したよ

うなものではありません。経団連の新卒採用にあたって重視するものの調査結果は

- 1位 コミュニケーション能力(七九・五%)
- 2位 協調性(五三%)
- 3位 主体性(五一%)
- 4位 チャレンジ精神(四九・四%)

となつています。それだけ人の話を聞き、自分の言葉で適切に答える能力が弱ってきているといえます。自分の言葉で語れないのは、ネタがないからです。このネタは自分自身の体験であり、その時々はどう感じたか、どう対処したか、何ができて何ができなかったか、自分の長所は何かなどです。

子どもたちに自分の生い立ちを振り返らせ、様々な体験をもとに自己分析をさせることは自分に自信を持たせ、自己肯定感を持たせることにもつながります。もうひとつ大切なことは、場数を踏ませることです。大勢の前で自分の意見を発表する機会を作ることなどです。夏休みは児童にいろいろな体験をさせ、児童に自分の思いを語らせる、それをつくり聞いてあげる、そんな機会を作っていたきたいと思います。

文責・伊藤